



各 位

2021年6月25日

会社名 パレモ・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉田 馨
(コード番号：2778 東証・名証第2部)
問合せ先 取締役管理担当 福井正弘
TEL (052)581-6800

連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、2021年3月30日に公表しました2022年2月期第2四半期(累計)(2021年2月21日～2021年8月20日)及び通期(2021年2月21日～2022年2月20日)の連結業績予想及び配当予想につきまして、新型コロナウイルス感染症に伴う影響の長期化を主要因とする最近の業績動向を踏まえ、下記の通り修正することになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2022年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年2月21日～2021年8月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,400	300	300	150	12.52
今回発表予想 (B)	8,700	△250	△250	△400	△33.57
増減額 (B - A)	△1,700	△550	△550	△550	—
増減率 (%)	△16.3	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年2月期 第2四半期)	8,371	△771	△766	△953	△79.18

(2) 2022年2月期通期連結業績予想数値の修正(2021年2月21日～2022年2月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,500	400	400	100	8.34
今回発表予想 (B)	18,400	50	50	△350	△29.37
増減額 (B - A)	△2,100	△350	△350	△450	—
増減率 (%)	△10.2	△87.5	△87.5	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年2月期)	18,257	△1,325	△1,321	△1,880	△157.00

2. 業績予想修正の理由

(1) 2022年2月期第2四半期累計期間の連結業績予想（2021年2月21日～2021年8月20日）

2021年3月30日に公表しました、2022年2月期第2四半期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた2回目の緊急事態宣言が2021年3月21日をもって解除となり、当面は3月期の足元と同程度の影響は受けつつも緩やかに回復することを想定しておりました。

しかしながら、4月中旬には再び感染者が急拡大を見せ、4月25日には3回目の緊急事態宣言が感染拡大地域に発出され、昨年に引き続きゴールデンウィーク期間中には、最大35店舗が休業となるなど、想定以上の客数減に見舞われました。このような環境から、売上高におきましては、上半期の既存店売上高前年比は当初139.5%の想定でしたが、約115%の伸長にとどまり、前回予想から17億円下回る見通しとなりました。利益面におきましては、賃料減額交渉や人員の適正配置等を進め、一定程度の削減は進みましたが、売上高の減少に伴う売上総利益の減少幅が大きく、営業利益、経常利益並びに、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回予想より550百万円下回り、それぞれ損失計上となる見通しであります。

(2) 2022年2月期通期の連結業績予想（2021年2月21日～2022年2月20日）

通期の売上高は、上半期の実績見通しに加え、不採算店舗の退店を当初予定から前倒しで実施したことにより、前回予想から21億円下回る見通しとなりました。利益面におきましては、上半期中に不採算店舗の閉店を積み増したほか、苦戦が続いているアパレルの店舗を好調業態である300円均一雑貨ショップの「イルシー300」に業態変更を進めるなど、店舗収益基盤の再構築を進めており、これまで交渉を重ねてきた賃料減額も経費削減に寄与することから、営業利益、経常利益ともに前回予想から350百万円下回るも50百万円の黒字を見通しております。また、親会社株主に帰属する当期純利益におきましては、営業利益の見通しが前回予想を下回る見通しとなったことから、減損損失の増加が見込まれ、前回予想から450百万円下回り、350百万円の損失となる見通しであります。

3. 配当予想について

	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	0.00	—	—
今回発表予想	0.00	0.00	0.00
当期実績	—		
(ご参考) 前期実績	0.00	0.00	0.00

4. 配当予想修正の理由

2022年2月期の期末配当につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が不透明であることからこれまで未定としておりましたが、上記のとおり純損失の予定と財務状況の見通しを勘案し、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

以上